

みどり



発行日 2025.10.30

第112号

岩見沢市立緑中学校
編集責任者 / 工藤貴久
印刷会社 / 株式会社印刷

Contents

- P2-P3 令和7年度 緑中学校 校長の決断と挑戦
- P4-P5 第17回 陸上記録会
- P6 “緑の活躍者ここに”
- P7 ヘルメットで守ろう！自分の命
一服のお茶でほっとひと息 ~茶の湯の時間~
- P8 みどり日和

岩見沢市立緑中学校 生徒数 257名
(男子：124名、女子：133名) 世帯数 237戸
令和7年9月 現在



要check!!今年度の教職員紹介もあるよ！
P3の左下にある二次元コードを読み込んでね。

先生や生徒に質問してみました

先生・生徒合わせ249件のご協力をいただきました！

- Q** 45分授業は実際どうですか？
A 5分休憩での教室移動で次の授業時間に移動できずそのぶん食い込む事もあるが、生徒の集中力は上がった。 **先生側**
- Q** 学校や家庭での学習習慣はどう変化しましたか？
A エデュタイムの時間に宿題等をやる事で家でやりたい勉強ができるようになった。 **生徒側**
- Q** 今後の教育活動については？
A (下校時間が早くなったことで) 家庭での生活習慣はどう変化しましたか？
A 早寝早起きができるようになった事や、家族や友達と過ごせる時間が増え、時間管理ができるようになった。
- Q** チル・エデュタイムの活動はどうですか？
A チルタイムは今のところ活動状況によっては、不定期である。
エデュタイムは教えてきた事の点と点が繋がってきた感触がある。
- Q** チル・エデュタイムの活動によりどう変化しましたか？
A チルタイムがある事により2時間目の授業から気分が楽になった事と、エデュタイムでは分からない事を友達や先生に聞いて、その場で復習や予習ができるようになった。

他にもたくさんの声が上がりましたが、どのようにお考えですか？

回収した貴重な声を私の思いを含め、以下のとおり皆で改善していきます。

休み明けは、ゆっくり学校生活を始められる時間が必要

効果測定(分析)が必要

良い取り組みを真似たらどうか

45分の授業が確保できない事も

配信問題しかできないのは意味がない

休み時間を伸ばして

数学特化は意味があるのか

他のエデュタイムも火曜の数学みたいに、「この日はこの科目」と決めた方が学習習慣がつかそう

成果を評価するために専門家による年3回の意見と、年2回の効果測定や各種調査を分析し、次年度の準備を進めていく予定です。また、生徒が学習内容の全体像を把握できるよう、安定した授業時間を確保することがこの1年の目標です。

週始めのチルタイムでは、教職員や生徒への事前の配慮事項を明確にすべきでした。本校の取り組みを研究開発学校として積極的に導入し、その効果を他校でも活用できるように一般化することも視野に入れていきます。



授業内容の理解が学習習慣定着の第一歩です。ノーチャイン制導入や授業形態の変更は十分な解決に至らず、登校時間を早める案も生徒の負担を考慮し見送られました。そこで、全国平均を下回る数学の学力向上を目指し、自習時間の活用に着目。配信問題はきっかけに過ぎず、生徒が学習内容や方法を自由に選択できる「自由度の高い学習」が最終目標です。

これを達成するため、生徒と教職員の意見を反映させるプロジェクトチームを立ち上げることを検討しています。

「チーム担任制」メリットと課題 1学年から初スタート！

今年度から導入された「チーム担任制」について、1学年の先生方にアンケートを実施しました。チーム担任制を経験してみて、どのようなメリットや課題を感じているか、具体的な声をご紹介します。

- より手厚い生徒への対応と先生方の連携強化**
生徒一人ひとりへの対応が手厚くなり、複数の先生で生徒の情報を共有することで、多様な視点から生徒指導や保護者対応がスムーズに行えるようになりました。生徒もどの先生にも話しやすくなったと話しており、先生方が教室に来るのを楽しみにしているようです。
- 情報共有と役割分担が今後の鍵**
チーム担任制では、意見調整や打ち合わせによる時間的負担、また「誰に相談すれば良いか」という相談窓口の分かりにくさが課題です。しかし、タブレットの活用などで乗り越えており、今後は細かな役割分担で負担軽減を図り、さらに良い制度にしていくことが期待されています。

- Q** 「この数ヶ月で明らかになった課題に対し、今後どのように改善を進めていくお考えですか？」
A この取り組みは前例がなく、打ち合わせや役割分担に関する参考資料はあっても、実際にやってみないと真の理解は得られません。中学校の教科担任制と学級担任制の良い点を踏まえ、学年全体の教員が生徒一人ひとりを自分の担当として考えられるようにします。改善に悩んだ際は、先進校の視察を行う予定です。

2030年度から改訂される教育課程を先取り！

2030年から変わる新しい教育を先取りし、緑中学校は「強く、正しく、明るく」を校訓に、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すことで、将来社会で活躍できる土台を育む教育を展開していきます。

生徒と教職員の学校での1日の過ごし方を見て、色々なことに互いに向き合うにはどうすれば実現可能となるのかと考えたとき、誰も触れてこなかった1日の日課を改定すれば、もしかしたらできるのではと思ったことと、岩見沢市全体で各校において特色ある教育課程の編成に係る後押しがあったからです。

改訂される教育課程を見据え、日課改定に至った大きな決め手とは？

これらが校長先生の日課改定に踏み切った要因と考えられます。

皆さんも気になりますよね？校長先生へ色々伺ってみましょう！

1単位時間45分授業の導入について

学習時間の確保と教育の質の向上が必要

学力を上げるには、基礎知識の定着とそれを使いこなす力が必要です。そこで、日課を見直して学習時間を確保し、生徒も先生も一緒に工夫しながら、学びの質を高めていきます。

生み出した時間の中で自分に合った学び方を見出し、いくつになっても学び続けることが大切であるという感覚と学力向上の鍵は、学び方の習得にあると実感した事です。

45分授業を導入して「本当に良かった」と思えた事は？

学力向上に最適な選択とは

生徒自身が自走できるような授業が展開されるよう先生たちの挑戦力も上げていきたいと考えているようです。

創意工夫ある時間でできること それは！チルタイム&エデュタイムの実施

それは何ですか？

下をご覧ください。

チルタイムはどんな活動？
「チルタイム」とは、月曜日の1時間目に設けられた、ゆったりと一日を始めるための時間の事です。ここでは、主に生徒同士の交流や道徳、学級活動などを行います。これにより、ストレスなく週の始まりを迎えることができます。

エデュタイムは何をする？
「エデュタイム」とは、月曜日に「自学」、火曜日に「数学特化」、金曜日に「週の振り返り」を行う時間の事です。生徒が自ら学ぶ力を育むことを目的としていますが、先生も一緒に学び直しをサポートします。これにより、基礎学力の向上や苦手科目の克服につながります。

45分になると、勉強時間が減ってしまうと思いませんか？1日の学ぶ時間数は何も変わりません。この工夫ある時間でつまづいている単元や科目を教えてもらうチャンスなのです。受験生であれば、進路や受験に合わせた内容を先生に相談することができますよ！

火曜日は数学の学力向上に特化

北海道の中学生の数学の平均点は、全国平均を約1~2ポイント(%)下回る傾向が見られます。特に、「活用」に関する問題での正答率は、全国平均との差がより大きくなる傾向があります。数学における「活用」とは、単に知識を覚えているだけでなく、その知識を実際の場面で応用する能力を指します。(※全国学力・学習状況調査令和6年度の結果による)

例えば、以下のようなものが挙げられます。

【文章問題を解く能力】 問題文を理解し、必要な情報を取り出して、適切な数学的概念や方法を用いて問題を解決する能力。

【日常生活での応用】 買い物での割引計算、地図を使った距離や時間の計算、統計データの解釈など、日常生活で数学的な知識を使って合理的な判断や行動をする能力。

30% OFF

緑中学校全体が積極的にこのプロジェクトを進め、多くの発見や成果、そして今後の課題を上げていくことが分かります。これからも保護者みなさんのご協力を通じて、成長を後押ししていきましょう。

ヘルメットで守ろう！ 自分の命



「ヘルメットをかぶるのはちよつと...」と思っていま
せんか？
「どうして必
要？」と疑問を持
つ生徒も多いこと
でしょう。
保護者の皆様も、
この機会にぜひ一
緒に考えてみませ
んか。

新しい決まり

本校では、六月二日から自転車通学時のヘルメット着用が必須となりました。令和五年の改正道路交通法により、自転車利用者の着用努力義務が定められたことを受けての取り組みです。



他にも!!

意外と多い自転車の違反

- ・イヤホンをつけたままの運転
- ・無灯火走行
- ・スマホを見ながらの運転
- ・一時停止無視

※『気づかず違反』も多いものです。これを読んだ今日からはもちろんですが、卒業後も安全運転を心がけましょう。

なぜ必要なのか

自転車事故の約半数は頭部のけがが原因です。実際に調べると、頭部を負傷した時にヘルメットをかぶっていなかった人は、かぶっていた人比べて死亡・重症の割合が約1.7倍高いと報告されています。
ヘルメットは未来を守る大切な道具です。

かぶらないとどうなる？

- ・長期治療が必要な大けが
 - ・日常生活に支障をきたす後遺症
 - ・最悪の場合は命を落とす危険
- 脳の損傷は回復が難しく、ほんの瞬間の油断が取り返しのつかないことにつながります。

小さな習慣が大きな安心に

今までヘルメットを着用していなかった人は、慣れないので抵抗を感じたかもしれません。しかし、「面倒だから」「髪型が崩れるのが嫌だな」などの理由でヘルメットをかぶらずにいることで、大きな後悔につながる可能性があります。だからこそ、『学校のルールだから』だけでなく、『自分の命を守るため』にかぶることが大切です。

家庭でも意識づけを

最後に、大人の皆様へ。最後に、一度ヘルメットの重要性について話し合ったり、実際の着用を見守って励ましたりすることで、子どもたちの安全意識を一緒に育てていきましょう。

一服のお茶でほっとひと息 〜茶の湯の時間〜



緑中生の皆さん、『茶の湯』は好きですか？二〇〇八年から始まった『茶の湯』は現在、年間八回ほど行われ、毎回百人前後の生徒が参加する人気の活動です。机と椅子でいただく形式で、気軽に日本文化に触れることができます。
この活動は、地域と学校を繋ぐ『コミュニティ・スクール構想』の一環として行われています。ご協力くださるのは、公益財団法人 岡田茂吉美術文化財団の皆さん。

中心に多くの方に支えられています。「私たちが楽しいから、生徒にも楽しんでほしい」「日本文化に触れてほしい」「毎日忙しい先生方にも癒しの場を提供したい」そんな思いで活動を続けてこられました。

各テーブルの花入れには季節に合わせた手作りの飾りが添えられ、お茶だけでなく、柔らかな笑顔と彩られた空間全体が心を和ませてくれます。教室の入り口に置かれた感想ノートには、「美味しかったです」「心が落ち着きました」「いつもありがとうございます」といった言葉が並んでいました。お茶をたててくださった方々にとっても、励みになっているそうです。

学校祭当日のこの日は、来校していた保護者もお茶をいただくことができました。また、生徒が押し寄せる前には数名の先生方が訪れ、慌ただしい業務の合間にホッとひと息つく姿も。茶の湯を通じて学校と地域がつながる、温かな時間が広がっていました。
これからもこのひと時が、憩いと学びの場として、末永く続いていくことを願っています。





給食試食会

令和7年7月8日(火)本校3階にて第14回給食試食会が開催されました。

今年度は、エアコンが完備された快適な教室で実施することができ、26名の保護者の皆様に参加いただきました。

試食会では、実際に提供されている給食を召し上がっていただき、保護者の皆様からは「コーンクリームスープやイタリアンサラダが美味しかった」「コッペパンが大きくて食べ応えがありジャム等があれば良かった」等のご意見やご要望を多数お寄せいただきました。

皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の給食献立づくりに活かせるよう岩見沢市学校給食食材調達・献立作成委員会に保護者の声として届けてまいります。ご参加いただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。



- 今日のメニュー
- ★コッペパン
 - ★コーンクリームスープ
 - ★ポークチャップ
 - ★イタリアンサラダ



鉄北地区の見守り

令和7年7月9日(水)岩見沢第一小学校にて「鉄北地域青少年育成連絡協議会」が開催されました。この会議では、私たちの子供たちが学校や地域で安全に過ごせるよう、学校やPTA、関係機関などが連携し子供たちに起こった出来事を共有し、さまざまな取り組みが話し合われました。共有した出来事を一部紹介します。

不審者対応では、地域の方からの情報提供を受け、警察と連携して不審者に対応し、被害の未然防止に努めました。公共の場での過ごし方では、公園などでの過ごし方について指導し、周りの方々に配慮した行動ができるよう促しました。SNSトラブルでは、SNSが原因で他校の生徒とのトラブルが発生した際には関係機関と連携し指導を行いました。

献立への期待

今まで皆様からいただいた貴重なご意見は、令和7年6月4日(水)に開催されました第2回の岩見沢市学校給食食材調達・献立作成委員会にて共有し、今後の献立作成の参考にさせていただきますので、その一部を紹介いたします。

「中華風あんかけのように、麺と汁が絡む新しい献立を」というアイデアは、給食の麺料理においてこれまでになかった視点であり、子供たちにも大変喜ばれると委員会で前向きに受け止められました。

会長のひとり言

「PTA会長って大変ですよ」とよく言われることがありますが、私はそうは思いません。そりやあ入学式、卒業式、市P連、総会などでの挨拶はとも緊張する場面はありますが、私自身も緑中学校の卒業生なので自分の子が通っているという協力したいと思いついて役員を引き受けました。また、自分の仕事以外での沢山の人の出会いがあり、色々な考え方や意見など自分にとってとても参考になる場でもあると思います。最近ではPTAの在り方など色々取り上

この協議会では、保護者や地域の方々子供たちの安全を守るための重要な役割を担っていることが再確認されました。子供たちが危ない行動をしていたりするのを見かけた際は、その場での声かけや注意、そして学校への連絡をお願いします。

青少年育成委員の皆さんは、こうした日々の活動を通じて、子供たちが安全に、そして健やかに成長できる地域を目指して活動しています。私たち一人ひとりが、子供たちを温かく見守る「地域の目」となることで、より安心できるまちづくりにつながります。



このように皆様の意見が具体的な献立のアイデアとなり、給食がより良いものへと進化していくきっかけとなります。

学校給食費が改定します!

給食費改定(中学校)

| 区分 | 現行 | 改定後 |
|------|---------|---------|
| 1食単価 | 284円 | 372円 |
| 年額 | 53,960円 | 70,680円 |

今年度の給食費は、改定前の金額に据え置きます。

毎日、20000枚の食器を洗って汚れチェックしています!



柔道大会ボランティア

7月29日(火)・30日(水)の2日間、総合体育館にて「第53回北海道中学校柔道大会」が開催されました。今年度、本校が運営事務局を務めることとなり、例年の校舎清掃活動に代わり、PTAの保護者6名と生徒2名が大会運営のボランティアとして参加しました。

猛暑の中、選手たちのために奮闘。気温30度を超える猛暑の中、熱中症に注意しながら、会場の整備を行いました。主な作業は、受付や審判用の机と椅子の搬入・設置、冷風機の設置、館内の熱中症対策に関する案内や大会横断幕の貼り付けなどです。特に、北ふれあいセンター1から机を運ぶ作業や、見栄え良く調整しながら横断幕を貼る作業は、額から汗が流れるほど大変でしたが、保護者と生徒、先生方が力を合わせ、無事に終わることができました。

本校から出場した2名の選手は残念ながら敗退となりましたが、全道から集まった柔道選手たちが快適な環境で競技に集中できるよう、少しでも力になれたことを嬉しく思います。

PTAの協力が成功の鍵。大会の準備には多くの人手が不可欠です。ボランティア活動を通して、運営を担う方々の苦勞や、陰で大会を支える多くの方々への存在を改めて感じることができました。今後、学校と保護者が協力して学校全体を盛り上げていくことが、子供たちの学校生活をより豊かなものにするためと改めると実感する機会となりました。



編集後記

広報紙みどり第112号はいかがでしたでしょうか?

今年度「初」広報委員として、一生懸命活動してまいりました。この広報紙を通して、皆さんに様々な情報を発信していきたいと考えておりますので、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

前期は学校行事等の普段は見えない先生方や職員の方々の皆様と協力して行事を支え、連携することのありがたさを強く感じました。最初は不安もありましたが、微力ながらも誰かの役に立てたと思える場面が増え、私にとってかけがえのない経験となりました。広報紙作成にご協力いただいた皆様には、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。(旗)

- 【広報委員会】
- 青山 有希
 - 安藤 純子
 - 長谷 春佳
 - 旗 美紀



今後の活動予定

- 11/18~26 三者懇談 3/12 卒業式
- 12/16 授業参観・学年懇談 3/26 春休み
- 12/25~1/18 冬休み
- 1/26、30 スキー授業
- 2/2、6 スキー授業
- 2/10 高校推薦入学試験
- 3/4、5 高校一般入学試験

